

【関東ブロック】

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
応募様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. 団体名	青梅市
2. 事業名	釜の淵公園周辺エリアの整備事業
・事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	多摩川の水辺と緑に触れ合える場所として夏季を中心に多くの来客がある釜の淵公園周辺エリアを、自然環境を活かしたアウトドア拠点として整備する。
・事業実施にあたり重視する点	民間資金を導入して公共空間を活用した施設整備を行うことで、中心市街地との連続性を重視したにぎわいを創出するとともに、地域の課題を解決したい。
・事業の種類 ※該当する番号に○(複数可)	1.新設 2.建替え 3.改修 4.管理運営のみ 5.公有地活用 6.包括委託 7.その他(収益事業運営、施設管理)
・施設等の用途	<ul style="list-style-type: none"> バーベキュー、キャンプ、カヌー、釣りなどが楽しめるアウトドア体験施設 アウトドア用品を中心としたショップ 公園来場者が利用できるカフェレストラン
3. サウンディングの目的	事業の可能性や民間事業者の参入意欲を把握し、当地での事業推進に活用するため。
4. 事業対象地の概要	
①所在地(交通情報含む)	東京都青梅市大柳町 1392 (JR青梅駅から徒歩15分)
②敷地面積	13,000 m ²
③土地利用上の制約	都市計画緑地内
④所有者	市
⑤周辺施設等	市営駐車場、市立郷土博物館、市立美術館、かんぼの宿が立地

⑥対象地周辺の一般的なイメージ	都心部から気軽にアクセスできる観光地	
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	<p>JR青梅駅から約1 kmに位置し、市営駐車場も隣接していることから、交通アクセスが良い。</p> <p>平成28年度に内閣総理大臣認定を受けた青梅市中心市街地活性化基本計画の区域内に位置し、釜の淵公園改修事業が計画の目標達成に資する事業の一つとして位置付けられている。</p>	
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
①施設名称	釜の淵公園水泳場管理棟	アウトドア体験施設 アウトドア用品ショップ カフェレストラン ログハウス
②施設の延床面積	400㎡	1,000㎡
③建物の構成(構造、階数)	RC2階	木造またはRC2階
④主な施設の内容、導入機能	更衣室、管理室	受付、シャワー室、更衣室、物販店舗、飲食店舗、宿泊施設
⑤運営状況 (運営主体、事業手法等)	休場中	民間事業者への管理運営委託
⑥その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称		
②規模、能力等		
③運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
6. 事業環境		
①人口、高齢化率	13万6,000人、27.1%	

②対象地周辺の人口構成	年少人口（0～14歳）1万6,000人、11.7%、 生産年齢人口（15～64歳）8万3,000人、61.1% 高齢人口（65歳以上）3万7,000人、27.1% 昼間人口12万7,000人、夜間人口13万9,000人 昼間人口指数（夜間人口=100）91.4
③市民意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキューのゴミの放置や川原遊びの騒音で近隣住民が迷惑しているため、施設を整備して適切に管理する必要がある。 ・休止中の水泳場に野良猫が棲みつき、数が増えているため、早期に解体してもらいたい。
7. 事業関連	
①現状及び課題	<p>本事業の計画地内にある市営プールが施設老朽化のため6年前から休場となっている。財政難の折、取り壊しのための予算も付かず、既存施設が残ったままとなっている。この施設に棲みついた野良猫が増加して問題となっている。</p> <p>市営プール周辺を流れる多摩川の蛇行部に広い川原空間が形成されており、川遊びの絶好のポイントとなっている。特に夏季は、水遊びやバーベキューを目的として多くの人を訪れている。</p> <p>自由にバーベキューができる現状のため、バーベキューによるゴミの放置、悪臭、騒音が発生している。また、直火でのバーベキューによる焦げた石が散見され、景観を損ねている。</p> <p>本事業は、未利用の公共空間を有効活用して地域の課題を解決するために実施する必要がある。</p>
②目的、考え方・基本方針	<p>多摩川の水辺と緑豊かな自然環境を活かして、バーベキュー、キャンプ、カヌー、釣りなどが楽しめるアウトドア拠点を整備する。</p> <p>民間事業者が未利用の公共空間を活用して事業を運営し、その収益を施設の維持管理費の財源とする官民連携によるまちづくりの手法を導入する。</p> <p>整備にあたっては、中心市街地との連続性を重視し、ハード事業とソフト事業の連携により川、道路、まちが接続して人が回遊できるつながりのある空間づくりを行う。</p> <p>この事業により、にぎわいの創出に寄与する施設を整備するとともに、エリアの適切な管理運営により地域の課題解決を図る。</p>
③前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のターゲット：若年層のグループ、家族、団体等 ・施設の所有形態：市が土地所有、民間が施設を設置管理
④事業スケジュール(案)	<p>平成30年度 試行（ソフト事業の実施）</p> <p>平成31年度 着工（市営プール等撤去、整地、施設整備）</p> <p>平成32年度 供用開始</p>
8. 対話内容 ※意見・提案を求める内容	当該地での収益事業の採算性、事業の展開案、まちづくりへの理解、行政への要望

<p>をご記入ください。</p>	
<p>9. 対話を希望する業種 ※該当する番号に○(複数可) 注)希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません。</p>	<p>1.設計 2.建設 3.ビル管理 4.金融 5.保険 6.不動産 7.運営 8.その他 (アウトドアメーカー、アウトドア関連企業)</p>
<p>10. その他</p>	<p>当該施設に企業名等を冠した名称を付与できるネーミングライツ(命名権)の導入を検討する。 例) ○○○パーク釜の淵</p>

■ 添付資料

- 計画地の位置図
- 中心市街地の区域図
- 現況写真
- 検討案、イメージパース